

令和7年度コミュニティ・スクール実践研究報告書

1 概要

対象学校名		延岡市立南小学校	主な活動場所		南小学校校長室
月	内容			参加者	
4	入学式 (11日)	・入学式に来賓として出席			学校運営協議会委員
6	第1回学校運営協議会 (20日)	<ul style="list-style-type: none"> ・9:30~11:00 (9名) ・委嘱状交付 ・授業参観 ・会長、副会長互選 ・令和7年度学校経営方針説明 ・本年度の活動について (計画、予算等) 			学校運営協議会委員 校長 教頭 CS担当
9	第2回学校運営協議会 (17日)	<ul style="list-style-type: none"> ・9:30~11:00 (10名) ・今年度の取組について (あいさつ運動、たすき配付、地域素材・人材の発見、整理について) ・授業参観 			学校運営協議会委員 校長 教頭 教務
10	運動会 (19日)	<ul style="list-style-type: none"> ・8:30~11:30 (3名) ・運動会参観 			学校運営協議会委員 民生委員・児童委員
11	延岡市コミュニティ・スクール研修会参加 (21日)	<ul style="list-style-type: none"> ・14:00~16:00 (2名) ・【協議】地域と学校が連携、協働したコミュニティ・スクールの推進 			学校運営協議会委員 教頭
12	第3回学校運営協議会 (12日)	<ul style="list-style-type: none"> ・9:30~11:00 (5名) ・今年度の取組について (たすき配付、6年児童の地域貢献活動案) ・学校評価項目説明 ・次年度の教育課程 (年間行事予定の確認) ・授業参観 			学校運営協議会委員 校長 教頭
2	第4回学校運営協議会 (26日予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・14:00~15:30 (10名) 5年児童代表18名 ・熟議「どんな学校にしていきたいか」 ・学校評価 ・次年度の方向性 			学校運営協議会委員 校長 教頭 教務 CS担当 5年児童代表
3	卒業式 (25日予定)	・卒業式に来賓として出席			学校運営協議会委員

2 特色ある取組の紹介

アピールポイント 地域みんなが顔見知り 元気を運ぶ南っ子

○ 取組内容

「地域とともにある学校づくり」

これまでに課題として挙げた「あいさつ」「交通安全」「地域とのつながり」などの意見を基に、今後の方向性や重点的な取組について協議を重ねてきた。一昨年度から、これからの南小学校区で無理なく続けることができ、児童にとってキャリア教育の基本にもなる「あいさつ」運動に、学校と保護者・地域が一緒になって取り組んでいくことになった。児童の元気なあいさつを学校から発信できるように、また、地域の方々とのつながりがもてるように、あいさつによる「顔見知り」を増やそうというねらいで、一昨年度に「あいさつ運動のぼり旗」を作成した。さらに、昨年度は、できるだけ多くの地域の方々に日常的に活用できるものとして「たすき」を作成した。そして、本年度も顔見知りの輪を

さらに広げるためにたすきを増産し、各地区へ配付した。のぼり旗及び「たすき」を学校や地域で活用し、「あいさつ」を通して、地域とともに元気な南っ子の育成に努めていった。

「あいさつの日常化」

一昨年度に引き続き、児童会を中心に「朝のあいさつ運動」に取り組んできた。毎週月曜日のあいさつ運動を継続したり、全校朝会での気持ちのよいあいさつについて考えさせたりしたことで、元気なあいさつをする児童や自主的なあいさつができるようになった児童が年度当初よりも増えてきた。また、事務室や職員室、校長室に登下校時にあいさつをする児童も増えてきた。さらに、廊下や階段でのすれ違う際にも会釈をするなど考えた行動が少しずつ見られるようになってきた。しかしながら、地域の中でのあいさつになると知らない人には声をかけない、知っている保護者等にも先にあいさつをしない児童も多いようであり、まだまだ課題が残っている。



【あいさつ運動】

「5年生児童との話し合い」

来年度最上級生となる5年生が学校の課題についてどんなことがあるかを洗い出し、今後、南小をどんな学校にしていきたいかを第4回目の学校運営協議会で話し合うことにしている。昨年度も現6年生が「気持ちのよいあいさつをするために」というテーマで学校運営協議会委員の方と熟議を行った。運営協議会委員の方から適切なアドバイスをいただいたり、あいさつについての評価をいただいたりして地域の方々へ元気を届けられるように、よりよいあいさつ運動の取組を継続していくことになった。

「地域貢献活動」

6年生は本校の教育目標である「自ら考え 正しく判断し 幸動する南っ子」を具現化するために、家庭科の学習で自分たちで地域のために貢献できることは何かを考え、実践することにした。地域のために防災やあいさつに関するポスターを公民館に貼ったり、交通安全やごみリサイクルに関する内容について調べ、地域の回覧板を利用して啓発しようとしたりと自治的な活動にも積極的に取り組んだ。

○ 取組をとおして

「子どもの声」

- ・ 朝のあいさつ運動だけでなく、大きな声であいさつを交わしてくれたときはとても気持ちがいい。
- ・ 地域の見守ってくれている方々へ積極的にあいさつをしたいと思う。

「保護者の声」

- ・ 顔見知りの子どもたちは、進んであいさつをするようになってきたが、声の小さな子がいたり、あいさつを返さない子もいたりする。地域の方々にも同様に自分から進んであいさつができるように家庭でも声かけをしていきたい。

「地域の方の声」

- ・ いつも元気な声であいさつをしてくれたり、手を振ってくれたりする子どもがいるので元気をもらっている。

「学校運営協議会委員の声」

- ・ 地域で子どもたちの見守りやあいさつに取り組むことで、地域をあげて南小の子どもたちを育てていくことにつながると感じている。

「教職員の声」

- ・ 昨年度に行われた現6年児童と学校運営協議会委員との熟議を受けて、よりよいあいさつについての取組を継続して行うことができた点はよかった。

